

履修カルテ

フリガナ		
氏名		
記入欄	所属	看護学部 看護学科 年（ 1. 学部生 2. 編入生）
	在籍期間	年 4 月 入学 年 3 月 卒業（予定）
	学生番号	1234567890

履修カルテについて

【目的】

養護教諭(養護教諭Ⅰ種免許状の取得)を目指して教職課程を履修する自分が、教職課程の授業を通じて何を学んだのかを振り返るとともに、今後どのような学習が必要なのか、どのような学習が課題なのかを明確にするための記録・資料とする。

【作成時期】

教職課程の科目の受講開始(1 セメスター)から、「教職実践演習」(8 セメスター)の受講後まで。

【内容】

1. 「教育の基礎的理解に関する科目」等の学修の振り返り

「教育の基礎的理解に関する科目」、「道徳・総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」、「教育実践に関する科目」および「各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)」の科目のうち、以下の授業の履修修了直後に、授業を通じて何を学んだのかを振り返るとともに、今後どのような学習が必要なのか、どのような学習が課題なのか等について記述する。

- ①教育原論
- ②教職概論
- ③教育制度論
- ④発達心理学
- ⑤特別支援教育概論
- ⑥教育課程論
- ⑦道徳・特別活動・総合的な学習指導論
- ⑧教育方法論
- ⑨生徒指導論
- ⑩教育相談論

2. 教育実践に関する科目の学修の振り返り

- ①養護実習
- ②教職実践演習

3. 自己評価

- ①教員として必要な資質・能力
- ②学校が求める資質・能力(公立学校等教員育成指標)
- ③教職を目指す上で課題と考えている事項

1. 教職に関する科目の履修状況

法令上の 区分	科目名	単位数	履修年度	修得状況	備考
教育の 基礎的理 解に関す る 科目	教育原論	2単位			必修
	教職概論	1 単位			自(養必)
	教育制度論	1 単位			自(養必)
	発達心理学	2単位			必修
	特別支援教育概論	1単位			自(養必)
	教育課程論	1単位			自(養必)
道徳、総合 的な学習 の時間等 の指導法 及び生徒 指導、教育 相談等に 関する科 目	道徳・特別活動・ 総合的な学習指導論	2単位			自(養必)
	教育方法論	2単位			自(養必)
	生徒指導論	1単位			自(養必)
	教育相談論	1単位			自(養必)
教育実践 に関する 科目	養護実習	5単位			自(養必)
	教職実践演習	2単位			自(養必)

1)教育の基礎的理解に関する科目

教育原論	セメスター:
	教 員 名:
[学んだこと]	
[今後の課題・必要な学習]	

教職概論	セメスター:
	教 員 名:
[学んだこと]	
[今後の課題・必要な学習]	

教育制度論	セメスター:
	教 員 名:
[学んだこと]	
[今後の課題・必要な学習]	

発達心理学	セメスター:
	教 員 名:
[学んだこと]	
[今後の課題・必要な学習]	

特別支援教育概論	セメスター:
	教 員 名:
[学んだこと]	
[今後の課題・必要な学習]	

教育課程論	セメスター:
	教 員 名:
[学んだこと]	
[今後の課題・必要な学習]	

2) 道徳、総合的な学習の時間等の内容及び生徒指導、教育相談に関する科目

道徳・特別活動・総合的学習指導論	セメスター:
	教 員 名:
[学んだこと]	
[今後の課題・必要な学習]	

教育方法論	セメスター:
	教 員 名:
[学んだこと]	
[今後の課題・必要な学習]	

生徒指導論	セメスター:
	教 員 名:
[学んだこと]	
[今後の課題・必要な学習]	

教育相談論	セメスター:
	教 員 名:
[学んだこと]	
[今後の課題・必要な学習]	

2. 教育実践に関する科目

養護実習	セメスター:
	教 員 名:
[学んだこと]	
[今後の課題・必要な学習]	

教職実践演習	セメスター:
	教 員 名:
[学んだこと]	
[今後の課題・必要な学習]	

履修カルテ 自己評価シート

学籍番号

氏名

1. 教員として必要な資質・能力についての自己評価

5:よくできる。 4:ある程度できる。 3:どちらとも言えない。 2:あまりできない。 1:できない。

必要な資質能力の指標			自己評価			
項目	項目	指標	1年次	2年次	3年次	4年次
学校教育についての理解	教職の意義	教職の意義や教員の役割、職務内容、子どもに対する責務を理解している。	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
	教育の理念・教育史・思想の理解	教育の理念、教育に関する歴史・思想についての基礎理論・知識を修得している。	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
	学校教育の社会的・制度的・経営的理解	学校教育の社会的・制度的・経営的理解に必要な基礎理論・知識を修得している。	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
子どもについての理解	心理・発達論的な子ども理解	子ども理解のために必要な心理・発達論の基礎知識を修得している。	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
	学習集団の形成	学習集団形成に必要な基礎理論・知識を修得している。	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
	子どもの状況に応じた対応	いじめ、不登校、特別支援教育などについて、個々の子どもの特性や状況に応じた対応の方法を理解している。	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
他者との協力	他者意見の受容	他者の意見やアドバイスに耳を傾け、理解や協力を得て課題に取り組むことができる。	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
	保護者・地域との連携協力	保護者や地域との連携・協力の重要性を理解している。	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
	共同授業実施	他者と共同して授業を企画・運営・展開することができる。	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
	他者との連携・協力	集団において、他者と協力して課題に取り組むことができる。	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
	役割遂行	集団において、率先して自らの役割を見つれたり、与えられた役割をきちんとこなすことができる。	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
コミュニケーション	発達段階に対応したコミュニケーション	子どもたちの発達段階を考慮して、適切に接することができる。	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
	子どもに対する態度	気軽に子どもと顔を合わせたり、相談に乗ったりするなど、親しみを持った態度で接することができる。	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
	公平・受容的態度	子どもの声を真摯に受け止め、公平で受容的な態度で接することができる。	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
	社会人としての基本	挨拶、言葉遣い、服装、他の人への接し方など、社会人としての基本的な事項が身についている。	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1

教科・教育課程に関する基礎知識・技能	教科	これまで履修した各教科教育分野の科目の内容について理解している。	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
	教科書・学習指導要領	教科書や小学校・幼稚園学習指導要領（各教科編）の内容を理解している。	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
	教育課程の構成に関する基礎理論・知識	教育課程の編成に関する基礎理論・知識を修得している。	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
	道徳教育・特別活動	道徳教育・特別活動の指導法や内容に関する基礎理論・知識を修得している。	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
	総合的な学習の時間	「総合的な学習の時間」の指導法や内容に関する基礎理論・知識を修得している。	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
	情報機器の活用	情報教育機器の活用に係る基礎理論・知識を修得している。	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
	学習指導法	学習指導法に係る基礎理論・知識を修得している。	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
教育実践	教材分析能力	教材を分析することができる。	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
	授業構想力	教材研究を生かした英語科の授業を構想し、子どもの反応を想定した指導案としてまとめることができる。	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
	教材開発力	教科書にある題材や単元等に応じた教材・資料を開発・作成することができる。	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
	授業展開力	子どもの反応を生かし、皆で協力しながら授業を展開することができる。	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
	表現技術	板書や発問、的確な話し方など授業を行う上での基本的な表現の技術を身に付けている。	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
	学級経営力	学級経営案を作成することができる。	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
課題探求	課題認識と探求心	自己の課題を認識し、その解決にむけて、学び続ける姿勢を持っている。	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
	教育時事問題	いじめ、不登校、特別支援教育などの学校教育に関する新たな課題に関心を持ち、自分なりに意見を持つことができている。	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1

2. 学校が求める資質・能力（公立学校等教員育成指標）についての自己評価

5：よくできる。 4：ある程度できる。 3：どちらとも言えない。 2：あまりできない。 1：できない。

必要な資質能力の指標			自己評価			
項目	項目	「養成期」の指標	1年次	2年次	3年次	4年次
教員としての 基本姿勢	危機管理やコンプライアンス意識の徹底	危機管理や法令遵守の必要性・重要性を理解することができる。	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
	コミュニケーション力	人の話を聞いたり意思表示をしたりすることができる。	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
	自己管理能力	感情のコントロールができる。時間管理を行い、責任ある行動をとることができる。	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
	使命感、倫理観、情熱	教員としての崇高な使命を理解することができる。	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
	学ぶ意欲、素直さ・謙虚さ	教育に関心をもち、周りからの助言を受け入れることができる。	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
	チャレンジ精神、積極性	小さな困難を乗り越えることができる。	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
授業力	授業企画力	学習指導要領を理解するとともに、授業のイメージをもつことができる。	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
	授業実践力	板書や発問、指示等の授業展開に必要な基礎的なスキルを身に付ける。	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
	授業評価、改善力	授業改善の意義や重要性及び授業を分析して改善する手立てを理解することができる。	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
児童理解・指導力	児童とのコミュニケーション力、児童理解力	児童一人一人に向き合おうとしている。指導の意義と重要性を理解することができる。	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
	児童指導力、学級経営力、教育相談	集団指導や個別指導を行うための基本的なスキルを理解し、身に付けている。	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
学校経営や組織への参画・貢献	情報収集力、企画力	情報を収集するスキルをもち、収集した情報を活用して現状を改善することができる。	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
	組織や学校経営への貢献	学校組織や校務分掌について理解するとともに、学級担任の役割と業務を理解することができる。	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
	地域や保護者への対応力	ボランティア活動等を通じて、保護者や地域と連携することの重要性を理解することができる。	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
	リーダーシップ、人材育成力、協調性	学び続ける教員の重要性や教員の協働性について理解し、指導を受け入れる姿勢があり、自己啓発を行うことができる。	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1

3. 教職を目指す上で課題と考えている事項

【1年次】
【2年次】
【3年次】
【4年次】

4. 担当教員からのコメント

【1年次】
【2年次】
【3年次】
【4年次】